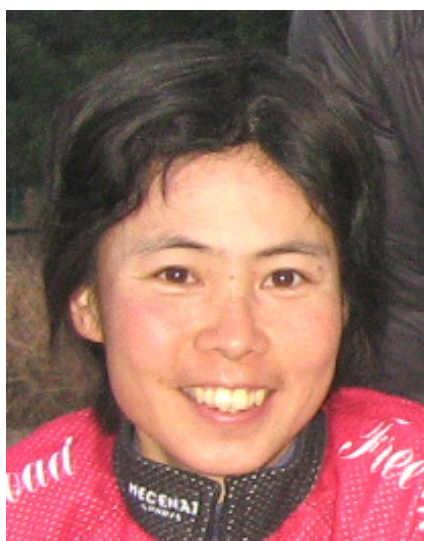


2011年4月15-17日 ハンガリー

4月15~17日、ハンガリーで開催された MTBO ワールドカップ第1戦に参加してきた。今季初レースということで、気分を盛り上げること、レースに慣れること、自分の実感と結果のずれを感じることができればいいと思って参加した。



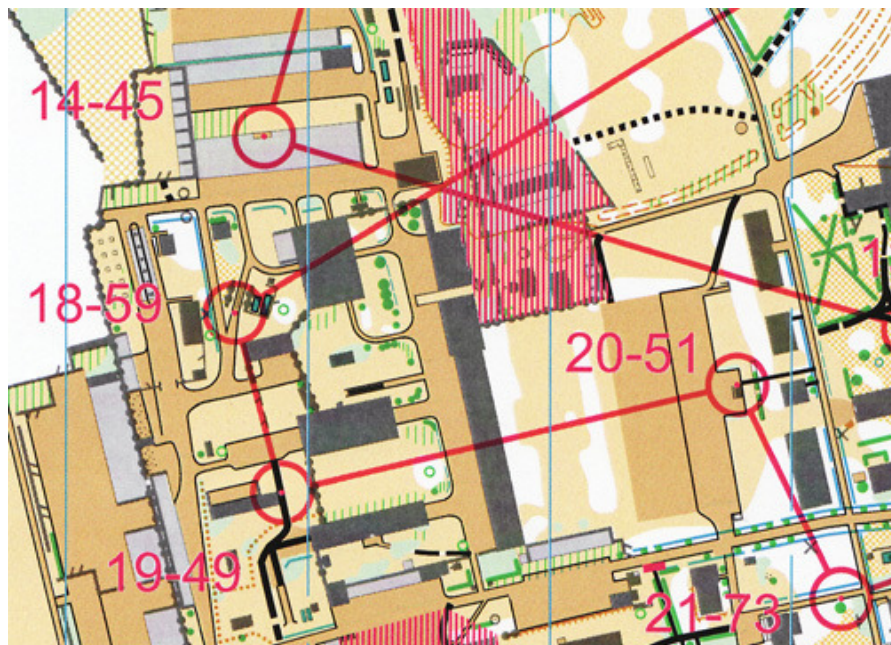
宮内佐季子

## ハンガリーに到着するまで

MTBO の遠征は当然 MTB を持つての移動になるのでとても荷物が多い。チームで動くときは何人かで車を借りることができるのである程度自由が利くが、今回は一人だったので大会運営者をお願いして運んでもらった。

夕方にブダペストに到着する便だったので、まずはブダペストに住んでいるハンガリーチームの女子選手の家へ運ばれ、そこで一晩泊めてもらい、翌日の便で到着したロシアのオフィシャルとオーストラリアの女子選手とともに100kmほど離れた今回の会場へ。車を待っている間に街の自転車屋に行って日本から持っていけないパンク修理剤入りのガス(ガス入りパンク修理剤?)を購入できたのは幸運だった。

飛行機が遅れたり運転手がのんきだったりして時間がどんどん過ぎていき、会場で受付を済ませて宿へ行くとすぐにチームリーダーズミーティング



スプリントのマップ

の時間になってしまった。モデルイベントに入りたいと思っていたのに…。車がない遠征では成り行きに任せるしかない部分も多いが仕方がない。

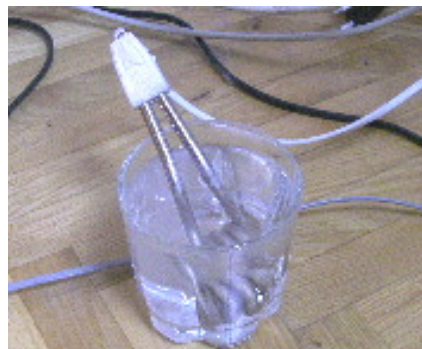
それでもレース初日はスタートが12時からと遅いので、「モデルには朝行けばいい」と気を取り直して、

ミーティング後に自転車を組みながら同室のロシア選手から山の様子を聞く。

フット0のワールドカップや世界選手権で他のチームの選手と同室になったことは一度もないが、MTBOでは他のチームの選手と同室になるのはこれで2回目(私のMTBO遠征は3回目)。今回同室だった選手はワールドカップが始まる前からMTBOをやっている10年以上の経験を持つベテラン。フットでもワールドカップに出場し、スキーもやっていたそうで、ナビゲーションには自信があるようだ。私の経験が浅いということで色々アドバイスをしてくれ、さらに食べ物の心配をしてくれたりロシアから持参した湯沸しを貸してくれたり、その上スプリントのウォーミングアップ用に彼女が用意していた地図を1枚もらい、完全に「クラブの先輩と後輩」ようになっていた。うーん、ありがたい。

私がアジア人女性だから?一人であるから?なんだか寂しそうにしているのかなあ?新しい仲間を歓迎してくれ

ている?とにかく、初めてMTBOの遠征をしたときから、毎回毎回色々な人が話しかけてきてくれて、教えてくれて、練習に誘ってくれて、ときには車がないからどこにも行けないだろうと観光に誘ってくれて、本当にありがたい。

携帯湯沸かし器。  
金属部分が発熱して湯を沸かす。

今回の一つ目の目的、「気分を盛り上げる」とは初日にスプリントの会場に行って達成されてしまった。半年以上レースから離れていて、ようやくレースをできるという喜びを感じてしまったので少し違う方向を向いているのだが、とにかくテンションが上がって最高にわくわくしていた。これは結果を出したいレースだとい状態とは言えないが、とてもいい通過点ではあると思う。

## スプリント

スプリントのレースでは、いきなりハンガリーのMTBOの洗礼を受けた。フットのスプリントをMTBに乗ってやっているようなものだったので全然対応できなかったのだ。MTBOはコントロールが道上にあるので、私が今まで経験してきたレースではコントロールのある道に入ったらナビゲーションは終わりだった。が、今回のスプリントは道上だけ建物裏にあたり、点状の道(道の記号がそこだけ描いてある!)だったり。最後までちぐはぐなレースをしてしまった。スプリントは対応できていなければレース中に徐々に対応していくのは私には厳しい。それでも慣れれば面白そうだ。来年の世界選手権はハンガリーなので、こんなに楽しいスプリントなのか?

## ミドル

2日目のミドルもまた洗礼を・・・いや、洗礼ではなく、勝手に崩れた。楽しくて仕方がないので、ミスが次のミスにつながっているわけではない。ミスは全て単独。全て単独のミスでこれだけミスをしたんだからちょっとやりすぎだ。あの時はこういうレースをしそうな状態だったし、ワールドカップとその後イタリアでもっと難しいトレイルで練習してきた今なら大丈夫だろう。

ルートチョイスは「オープンなMTBに乗ったまま通行していい」というルールに慣れなければならない。来年の世界選手権のためには「オープン通行可」という条件でルートチョイス練習を教こなす必要がある。

## ロング

最終日のロングは、一番気持ちよくナビゲーションできた。オープン通行可の要領も少し分かって楽しくオープンも使うことができた。レース中にSIカードを見失ってしまい、パンチなしでコースを走ろうと決めて走っていたら偶然SIを発見してSIを見失ったコントロールまで戻り・・・ちょうど1ループ余計に走ることになったのがトラブルと言えどトラブルか。アップダウンが前日までより多かったのも気持ちよくナビゲーションできた大きな理由になっている。

等高線が多いとやはり地形が読みやすいし、登りはスピードが落ちるからしっかり読める。ミドルのミスはスピードが強制的に落とされる区間が少なかったというのも原因だったのだ。もちろん、距離が伸びるほど、のぼりが増えるほど後半気持ちよくなってくるのは言うまでもない。

## まとめ

スプリントとミドルはわけが分からなくなってしまったが、ロングはそれなりに自分の走りをできたのでそれでトップのタイムと比べてみると、うん、そんなもんだらう、という差。冬で感覚が変わってしまうほどトップも早くなってはいないみたいだ。一安心。でも差はしっかりとある。私、夏までにあのタイムを出せるようになるんだらうか? トップ+10分なら行けそうだ。イタリアのほうが上りが多いから少し有利になると、本番だから縮められる数分を欲張って取りにくいしかない。

ロングのレースが終わるとさっさと

パッキングをして自転車と荷物と人でぎゅうぎゅうになった車でブダペストへ。バタバタだ。しかも、その晩のブダペストの宿を予約したのもちよつとした理由で前日の晩。こういう遠征で結果を出すのは私には難しいが、とてもいい練習だし、刺激にもなる。

世界選手権の数ヶ月前に同じメンバーが集まるレースに出られたのはよかった。

(宮内佐季子)

## 関東甲信越ブロック協議会 2011 年度トピックスレポート

報告者：木村佳司

2011年5月14日(土) 群馬県高崎市にて定例の関東甲信越ブロック協議会が行われました。以下協議会からのトピックスをお知らせします。都合で途中退席させていただきました。

### 2013 年度全日本オリエンテーリング大会

関東甲信越ブロックにて開催される予定となっている。菅平高原(長野県)の地元が招致に意欲を見せている。ただし場所柄、例年通りの3月開催は不可能。2013年度の5月または11月に開催時期は限定される。もし菅平高原で実施できることになれば、関東甲信越ブロックを挙げて協力が確認された。2015年度の全日本大会も関東甲信越ブロックの開催が予定されているが、この開催可否については各都県が持ち帰って検討することになった。

### 2013 年度全日本リレーオリエンテーリング大会

東京都で行う予定であることが報告された。

### 2011 年度全日本スプリントオリエンテーリング大会

現在どこの都道府県も立候補していない。いまのままでは開催されない可能性が高い。

### パークO ツアー関東の開催について

昨年まで行われてきたパークO ツアー埼玉を関東全域に広げる。2011年度は試行的に実施してみる。